

問診票（新型コロナウイルス感染症疑い）

受診日

令和3年8月27日改訂⑨

フリガナ

携帯

車種・色・ナンバー

氏名

年齢

歳

男・女

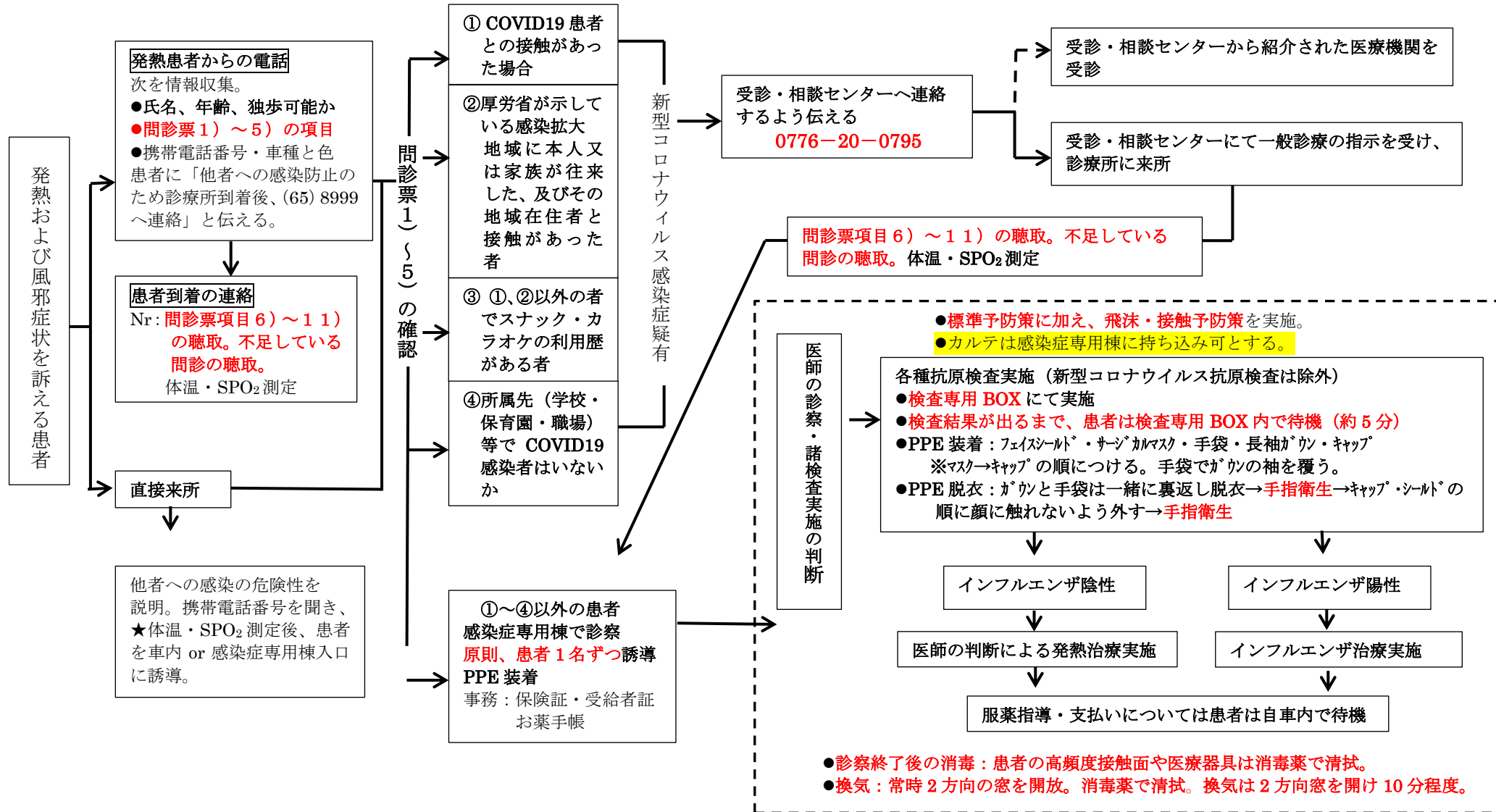
診療を安全・円滑に行えるように下記の事項についてご記入ください。

- 1) 本人または家族が県外から来県されましたか、または、県外の方との接触がありましたか。 (はい ・ いいえ)
都道府県名を教えてください。 ()
- 2) 本人または家族が2週間以内に県外に出掛けられましたか。(はい ・ いいえ)
都道府県名を教えてください。 ()
いつですか? (月 日 ~ 月 日)
どのような目的でしたか? ()
- 3) 本人または家族が新型コロナウイルス感染症患者との接触がありましたか?
(はい ・ いいえ)
接触があったのはいつですか? (月 日)
- 4) 本人または家族の職場・学校・保育園・高齢者施設（デイサービス等）でコロナウイルス感染症患者はいませんか。 (はい ・ いいえ)
- 5) 本人または家族が2週間以内に、不特定多数で3密になりやすい場所に行きましたか。
例：スナック、バー、カラオケ等 (はい ・ いいえ)
- 6) 受診・相談センターに連絡されましたか (はい ・ いいえ)
- 7) ワクチン接種をされましたか (はい ・ いいえ)
1回済 2回済
- 8) 現在みられる症状に ○ をつけてください。
37.5℃以上の発熱 強い体のだるさ（倦怠感） 息苦しさ 咳 痰
のどの痛み 鼻水 嗅覚・味覚の異常 頭痛
- 9) 症状がみられてから4日以上経過していますか? (はい ・ いいえ)
症状がみられてから2日以上経過していますか? (はい ・ いいえ)
- 10) 解熱剤等を服用していますか。 (はい ・ いいえ)
いつ解熱剤を服用しましたか? ()
薬剤名を教えてください。 ()
- 11) 次の病気になったことがありますか? ○ をつけてください。
糖尿病 ・ 高血圧 ・ 心臓病（心不全など） ・ 腎臓の病気（透析中など）
呼吸器の病気（慢性の呼吸器疾患・喘息など） ・ がん（抗がん剤治療中など）

1. 発熱患者への対応マニュアル改訂版 ver.13 改訂版

2021.9.1 改訂

- 1) 発熱のある患者は、すべて感染症専用棟で診察する。医師が各種抗原検査（新型コロナウイルスは除外）必要と判断した場合は、感染症専用棟に設置した専用 BOX で実施する。
- 2) 原則、感染症専用棟での診察は、患者 1 名ずつとする。小児科・内科患者が同時に来所した場合、看護師が症状・年齢から優先順位を判断する。
- 3) 全科において、原則患者の付き添いを禁止する。ただし、小児や要介護等の患者については 1 名までは許可する。



<診療所における感染予防策>

国立感染症研究所 国立国際医療研究センター国際感染センターが作成した「新型コロナウイルス感染症に対する感染管理(改訂 2020年4月7日)」を参考に作成した。

1. 標準予防策に加え、飛沫・接触予防策を行う。
2. 診察室は十分換気を行う。
3. 上気道の検体採取の場合、サージカルマスク・フェイスシールド・長袖ガウン・手袋を装着する。
4. エアゾルが発生する可能性のある手技（気道吸引、気管内挿管、下気道検体採取）では、N95 マスク・フェイスシールド・長袖ガウン・手袋を装着する。
N95 マスク使用時には、事前のフィットテスト、着用時のシールチェックを実施する。
5. 防護用具の使用後は、専用の感染性廃棄物用容器に密閉するか、あるいはプラスチック袋に二重に密閉したうえで、外袋表面を消毒して持ち出し、焼却処分する。

【医師の感染予防策】

- 医師の希望に沿った防護用具を選択してもらう。

【看護師の感染予防策】

- 右記の飛沫・接触予防策に準じて行う。
- 内科診察室で長袖ガウンを着用する場合は、**多目的室で着脱**する。
着脱においては、**個々が清潔・不潔面を意識するとともに防護用具を取り外した後に必ず手指衛生を行う**。ガウンを再利用する場合は、個人の責任の下でトリゾンラブを噴霧し消毒する。
原則長袖ガウンは1回ごとの使い切りであるが、現在入荷の見込みがない状況であるため、1日1人1枚の使用とする。

【感染症診察室で診察する場合】

- **个人防护服の装着場所は救急室、脱着場所は感染症事務室**とする。
- 个人防护用具は感染症事務室に設置したバイオハザードボックスに廃棄する。ただし、フェイスシールドの枠はアルコール消毒後再利用する。
- 个人防护用具を取り外した後、廃棄したあとに必ず手指衛生を行う。

【救急搬送患者の対応】

- **標準予防策に加え飛沫・接触予防策**を行う。つまり、個人用防護用具は

標準予防策対策の実際

- 1) 手指衛生：日常の手洗い（汚れ及び一過性微生物の除去）
衛生的手洗い（一過性微生物の除去あるいは常在細菌の除去・殺菌）
- 2) 个人防护用具：手袋・マスク・ガウン・ゴーグル、フェイスシールド
个人防护用具は1回ごとの使い捨てが基本である。个人防护用具を取り外した後、廃棄したあとに必ず手指衛生を行う。
 - ①手袋：医療従事者の手の汚染を防ぐ。血液・体液・分泌物・排せつ物・傷のある皮膚・粘膜に触れる時に手袋を着用する。
 - ②マスク・ゴーグル・フェイスシールド：血液・体液・分泌物・排せつ物の飛沫を発生させるような処置・ケアを行うとき、眼・鼻・口の粘膜を保護するために着用する。
 - ③ガウン・エプロン：血液・体液・分泌物・排せつ物の飛沫を発生させるような処置・ケアを行うとき、皮膚を守り、衣服の汚染を防ぐために着用する。1回ごとの使い切りとし、再利用しない。

感染経路別予防策

1) 接触感染予防策

手袋を着用し、汚染物に触れたときは手袋を交換する。着衣が患者や周囲の環境・医療機械に接触すると予測される場合や患者に失禁・下痢がみられる場合は、ガウン（エプロン）を着用する。部屋から出る前に手袋とガウンを脱いで破棄して手指衛生を行う。

2) 飛沫感染予防策

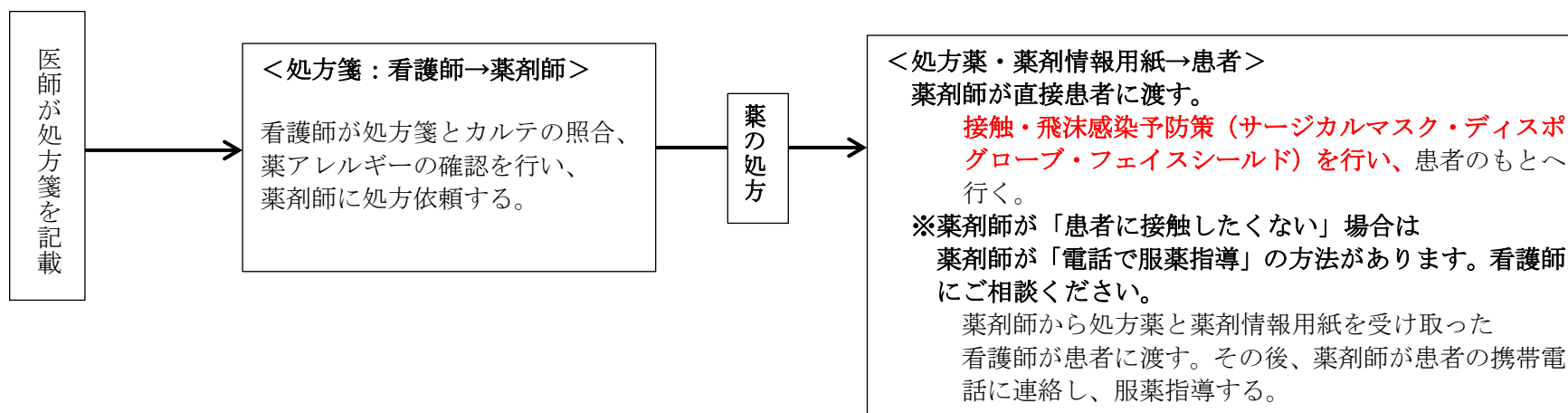
部屋に入る前にサージカルマスクを着用する。

サージカルマスク・ゴーグル・フェイスシールド・ガウンを装着する。
気管内挿管をしているまたは吸痰が必要な患者の場合は、N95 マスクを着用する。

2020.06.19 改訂

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた発熱患者への対応マニュアル（処方箋の流れと服薬指導について）

- 感染拡大予防
- 1) 発熱のある患者（熱中症疑い患者含む）はすべて感染症専用棟で診察する。
小児科・内科患者が同時に来所した場合、看護師が症状・年齢から優先順位を判断する。
 - 2) 全科において、原則患者の付き添いを禁止する。ただし、小児や要介護等の患者については1名までは許可する。
 - 3) 全科において、患者および付き添い者の検温を実施する。



薬剤師の感染予防対策

- 調剤器具および薬局内はこまめにトリゾンラブ（アルコール含有率83%）で清拭消毒する。
- 薬局内はこまめに換気する。

